

「宇宙のまち」アピール

大樹町・黒川さん 国際会議に参加

【大樹】韓国・大田で開催された「国際宇宙会議(IAC)2009」に、町企画課地域振興係の黒川豊係長がNPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(HASTIC、札幌)の一員として参加した。HASTICの出展コーナーでは大樹も紹介され、「宇宙のまち・大樹」のアピールに役買った。



IACは、国際宇宙連盟(IAF)などが毎年実施している世界最大規模の宇宙関連会議。今年は12月16日に宇宙に関する学術会議や展示会、イベントが行われた。HASTICからは、黒川係長を含め12人が参加した。

HASTICは展示会の出展ブースで、組織概要や教材用の微少重力実験装置、北海道スペースポルト計画などを紹介。同計画では、宇宙旅行を目的としたロケットブレンの離着陸場として大樹町を挙げている。黒川係長は「中国やインドなどアジアが宇宙開発に積極的であることを感じた」と話している。HASTICは道産小型ハイブリッドロケット「CAMUI(カムイ)」の研究開発を進め、大樹で打ち上げ実験を行っている。(佐藤圭史)

が黒川係長